

子ども食堂「再開めどなし」半数

新型コロナウイルスの影響で、地域の子どもに無料か安価で食事を提供する「子ども食堂」の半数近くで開催のめどが立っていないことが、支援団体の調査で分かりました。担当者は「感染リスクを懸念して足踏みするケースが多い」と話します。

新型ウイルスの影響 NPO法人「全国子ども食堂支援センター・むすびえ」(東京)などが9月下旬に全国342の子ども食堂を対象にアンケート調査を実施しました。

支援団体調査

で、同様の調査を行った6月に比べ9・3割増加しました。7・8月の感染再拡大が影響したとみられ、9月時点で開催したのは24・0%、10月から開催予定なのは6・1%でした。

「感染リスクを懸念して足踏みするケースが多い」と話します。

「感染リスクを懸念して足踏みするケースが多い」と話します。

「感染リスクを懸念して足踏みするケースが多い」と話します。

「感染リスクを懸念して足踏みするケースが多い」と話します。